学校番号	Ｔ０２０６

令和２年度　家庭科

教科	（専）家庭	科目	課題研究	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	なし						
副教材等	自作教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生活産業の各分野に関する課題について、生徒自信が課題を発見するように指導を工夫し、自由な発想で課題を設定していきます。
課題の解決を図る学習については、課題解決の方策を検討し、学習計画を立てて自主的に実践する学習活動を重視します。
専門的な知識と技術の定着を図り、実際の場面で応用発展し、変化の激しい社会において問題解決の能力や自発的な学習態度を育んでいく科目です。

２　学習の到達目標

生活産業の各分野に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a.関心・意欲・態度	b.思考・判断・表現	c.技能	d.知識・理解
観点の趣旨	各自の研究課題について、関心をもち、生活の充実・向上をめざして意欲的にとりくむ。	各自の研究課題に関して、自分の考えをまとめ、目的に応じてどのような発表方法・表現方法が適当かを判断する力を身につけている。	各自の研究課題に関し、計画に従って能率的に課題研究や発表を行うことができる技能を身につけている。	各自野研究課題に関し、理論・技術について理解し、わかりやすい研究発表にするために必要な知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 実習作品 調理計画、製作計画、実習記録表、レポート、発表方法、発表内容 相互評価・自己評価等	学習状況の観察 実習作品 調理計画、製作計画、実習記録表、レポート、発表方法、発表内容 相互評価・自己評価等	学習状況の観察 実習作品 調理計画、製作計画、実習記録表、レポート、発表方法、発表内容 相互評価・自己評価等	学習状況の観察 実習作品 調理計画、製作計画、実習記録表、レポート、発表方法、発表内容 相互評価・自己評価等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	内容	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
前期	課題設定	○研究課題の設定 ○研究課題の明確化	・学習を深めたい分野、内容を決定し、研究課題を設定する。 ・資料の収集方法、プレゼンテーションの方法などを理解する。	◎ ○	 ○	○ ◎	○ ○	a:「家庭総合」、家庭に関する専門科目での学習を自身の生活に関連付け、関心をもち、それらについての基本的な知識の習得に意欲的にとりくむとともに、実際の研究発表に結びつけて考えようとする態度をもっている。 b:適切な資料の収集方法、プレゼンテーションの方法を判断する力を身につけている。 c:課題の研究に必要な表現方法を身に付けている。 d:自身の研究課題について適切な研究方法を理解している。	・受講状況 ・学習意欲 ・実習取組 ・レポート
	研究計画作成	○実践内容の明確化 ○研究計画の作成	・実践内容を明確にし、研究計画を作成する ・課題解決のための実践活動を計画する	◎ ○	○ ◎	 ○	○ ○	a:研究課題について関心をもち、実際の生活と関連させ、知識の取得や理解に意欲的にとりくむ態度をもっている。 b: 具体的な発表を想定しながら、それに応じた発表方法等について考え、選択し、判断することができる。 c::研究発表に向けた計画を作成することが出来る。 d: 自身の研究内容や特徴、発表方法などについて基本的知識があり、発表計画についても理解している。	

後期	研究実践	○実践活動	・実験、製作などに取り組む ・実践活動を記録し、整理する	○	○	◎	○	a:ものづくり、人との関わりなどを意識した実践活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:発表に向けて、課題を見出し、その解決を目指して考え、表現している。 c:事例研究などを通して、実践活動のあり方について検討する技術を身に付けている。 d:わかりやすい発表に向けて必要な材料や資料の収集、発表方法などについて理解している。	・受講状況 ・学習意欲 ・実習取組 ・レポート
	研究のまとめ	○プレゼンテーション原稿の作成 ○発表の準備	・研究実践の記録をもとに、プレゼンテーションの設計をする。 ・	○ ◎	◎ ○	○ ○	○ ○	a:研究実践の記録をもとにわかりやすい発表に向けてプレゼンテーションの設計に意欲的に取り組もうとしている。 b:実践を通して気づいたこと、わかったこと、できるようになったことを明確にして表現している。 c:実践を通して気づいたこと等をわかりやすく表現する技術を身に付けている。 d:研究実践を通して、必要な情報をまとめ、プレゼンテーション原稿に必要な内容を理解している。	
	研究発表	○クラス内での発表	・冊子の原稿を作成する ・研究したことを発表する	○	○	◎	○	a:自身の発表だけでなく、他の人の発表にも関心を持ち、意欲的に発表を聞く態度が見られる。 b:自身の発表や人の発表から課題を見出し、その解決を目指して考え、表現できる。 c:発表を通して、相手にわかりやすい発表方法や資料の作成などの技能を身に付けている。 d:発表内容について理解し、毎日の生活にかかわる課題を認識している。	

※表中の観点について　a：関心・意欲・態度　b：思考・判断・表現
c：技能　d：知識・理解

※原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について、優先度の高いものから、◎、〇、空欄として示している。